

## 都市緑化よこはまフェア早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）報告書

環境学部環境創生学科 2年生 都市緑化研究会

石渡夏生

### 1、活動参加のきっかけ

私は、高校生まで部活や友人と遊ぶことしか考えていなかった。そのため進路を決める際、私自身したいことが分からない状態でした。そんな中、環境問題が度々テレビや学校で話題になっていることから、環境問題に意識が行くようになりました。そして私の住んでいる場所はマンションやビルが多く、自然が少ないと思うようになりました。そして自然環境について研究をしたいため、東京都市大学環境学部環境創生学科に入学した。

大学に入学して様々な授業を受けていく中で、都市部における緑化について興味を持ち、この活動に参加した。

### 2、活動での喜びと苦悩

実際に現場に来て最初に感じたことは不安だった。現場は雑草で生い茂り、とても細長く広い範囲であり、その場所を、東京都市大学を代表してガーデンを造り上げなければならぬという責任・重圧を感じたからである。実際、うまく行かないことが多かった。しかし活動をしていく中で、メンバーと協力して作業を行い、アイデアの共有を行いながら、ガーデンを造り上げることがとても楽しかった。試行錯誤を何回も繰り返しながらも完成に向けて活動をしていたことは大変であったが、達成感という喜びを感じられた。

### 3、個人エリアについて

私はガーデンに親しみを持ちやすいようにするには、どのようなことがあるか考えた。そして私はトピアリーという植物を立体的に形成した造形物を作ろうと考えた。トピアリーは自由に形作ることができ、植物で作るため、手で触るとひんやりして気持ちがいいことや植物が花咲くことでより可愛らしくなり、親しみを持って頂けると思い作成した。

右の写真はカップのトピアリーであり、植物には生命力の強い多肉植物を挿し、覆わせることで、可愛らしいカップを完成させた。

今後も作成して、より親しみを持って頂けるように活動をしていきたい。



### 4、感想

最初は興味だけで参加し、現場を任せられることによる責任と重圧によって不安で押し潰されそうだったが、メンバーと協力してガーデンを完成することができた。しかし今後をこのガーデンを持続させることが重要であり、これからも活動に専念していきたい。